



「つ・環境フェア」開催

～水土里ネット中勢・

水土里ネット雲出井と参画～



クイズラリーにチャレンジする参加者



スタッフの説明を受ける参加者



抽選器を回す参加者

去る12月6日(日)に津競艇場で「つ・環境フェア」が開催され、水土里ネット中勢・水土里ネット雲出井・水土里ネットみえが参画した。

この「つ・環境フェア」は、市民、事業者及び行政機関の参画、協働のもと、環境と共生した社会の実現を目指し、市民の環境に対する意識の高揚をはじめ、ごみの減量化、リサイクル資源化や環境保全活動など環境に対する市民の自主的、主体的取り組みがさらに広がることを趣意として催された。

今回は、エコエコ体験スタンプラリーのテーマブースにも指定され、来場者が絶えず訪れ、賑わっていた。

水土里ネットのブースでは、雲出川に設置されている雲出井頭首工及び付帯する施設を管理している水土里ネット雲出井が雲出井頭首工の概要と雲出井用水の開祖「西島八兵衛」をわかりやすく紹介したパネルを、安濃川の4カ所に設置されている頭首工(河川から田んぼへ水を引く施設)及び付帯する施設を管理している水土里ネット中勢が地区内を鳥瞰図でわかりやすく紹介したパネルを展示した。

そして、この展示パネルの内容を理解してもらおうとクイズラリーを実施し、650人がチャレンジした。参加意欲をかきたてるために正解者には景品として、中勢用水の受益地内で収穫された「餅米」、雲出川流域で収穫された餅米で作られた「切り餅」、津市須ヶ瀬地区の肥沃な農地で収穫された「ネギ」、「人参」、「大豆」、「小豆」などが用意された。正解者は抽選器を回し、出てくる玉を見ては歓声を上げ、事務局より渡される景品にそれぞれ満足顔であった。

クイズラリーと併せ行った環境に対するアンケートでは参加者のうち45%ばかりが住んでいる近くの川が汚

れていると回答し、また環境に対する作業活動があれば90%ばかりが参加するとの回答があり、環境に対する認識が高かった。

また、小学生以下の子どもたちを対象にした体験コーナーでは台所から出るわずかな汚水でも河川が汚れることを認識してもらうため、簡易的な検査方法で知られているCODパックテスト(化学的酸素要求量)に17組41人の親子連れらがチャレンジした。

子どもたちは、試薬入りのチューブに水道水・水道水に僅かな果汁の入った水・同じく醤油の入った水の三種類をそれぞれ注入し、水の色を見比べ、その変化に驚き、その後担当者からの分かりやすい説明に頷きながら聞いていた。

水土里ネットの存在、役割や環境保全の大切さを理解してもらえ、地域住民との交流が図られ、有意義な1日であった。



パックテストにチャレンジする親子連れ

